

監 査 第 43 号

平成29年8月17日

四日市市長 森 智 広 様

四日市市監査委員 伊 藤 晃

同 廣 田 正 文

同 中 森 慎 二

同 笹 岡 秀 太 郎

決 算 審 査 意 見 の 提 出 に つ い て

地方自治法第292条の規定に基づき、地方自治法施行令第5条第3項を準用し、審査に付された平成28年度三泗鈴亀農業共済事務組合農業共済事業会計決算を審査した結果について、別紙のとおり意見を提出します。



## 目 次

平成28年度三泗鈴亀農業共済事務組合農業共済事業会計決算審査意見	1
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
農業共済事業	
(1) 業務の実績について	2
(2) 予算執行及び決算額の状況について	3
(3) 経営状況について	4
(4) 財政状態について	4
(5) 資金の状況について	6
(6) 解散に伴う清算事務	7
(7) まとめ	8
(8) 意見	8

(注)・文中に用いる金額は、原則として万円単位で表示し、単位未満は切り捨てた。

※この決算審査意見書は、四日市市ホームページ (<http://www.city.yokkaichi.lg.jp>) で公表しています。

## 平成28年度三泗鈴亀農業共済事務組合農業共済事業会計決算審査意見

この決算審査は、地方自治法（昭和22年4月17日法律第67号。以下「法」という。）第284条の規定に基づく一部事務組合である三泗鈴亀農業共済事務組合が平成29年3月31日付けをもって解散したことに伴い、当該組合の平成28年度農業共済事業会計決算を法第292条の規定に基づき、地方自治法施行令第5条第3項を準用し、その事務を承継した四日市市長から四日市市監査委員の審査に付されたものである。

### 第1 審査の対象

平成28年度三泗鈴亀農業共済事務組合農業共済事業会計決算

### 第2 審査の期間

平成29年6月20日から平成29年8月10日まで

### 第3 審査の方法

審査にあたっては、決算書類が関係法令等に基づいて作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、会計帳簿・証拠書類との照合及び資産の抽出検査等の方法により実施した。併せて、解散に伴う清算事務について、関係職員から説明を聴取して審査を実施した。

### 第4 審査の結果

審査に付された決算書類は、いずれも関係法令等に基づいて作成され、その計数は正確であり、かつ、経営成績及び財政状態を概ね適正に表示しているものと認める。

## 農業共済事業

### (1) 業務の実績について

当年度の業務実績の前年度比較は、次表のとおりである。

#### <業務実績>

区 分	項 目	平成 28 年度	平成 27 年度	対前年度増減	増減率 (%)
水稲共済	引受実績	535,702 a	541,621 a	△5,919 a	△1.1
	支払共済金	5,355,313 円	10,163,076 円	△4,807,763 円	△47.3
麦共済	引受実績	174,216 a	172,617 a	1,599 a	0.9
	支払共済金	11,157,156 円	9,208,882 円	1,948,274 円	21.2
家畜共済	引受実績	5,606 頭	5,604 頭	2 頭	0.0
	支払共済金	80,413,108 円	66,266,232 円	14,146,876 円	21.3
果樹共済 (うんしゅうみかん)	引受実績	0 a	0 a	0 a	—
	支払共済金	0 円	0 円	0 円	—
畑作物共済 (大豆)	引受実績	83,297 a	82,210 a	1,087 a	1.3
	支払共済金	14,039,649 円	22,812,920 円	△8,773,271 円	△38.5
園芸施設共済	引受実績	315 棟	334 棟	△19 棟	△5.7
	支払共済金	2,620,175 円	310,730 円	2,309,445 円	743.2

#### ア 水稲共済

平成 28 年産引受実績は、535,702 a となり、前年に比べて 5,919 a の減少となった。  
支払共済金は、5,355,313 円で、被害率は 0.16% となった。

#### イ 麦共済

平成 29 年産引受実績は、174,216 a となり、前年に比べて 1,599 a 増加した。  
支払共済金は、11,157,156 円で、被害率は 4.23% となった。

#### ウ 家畜共済

平成 28 年度引受実績は、29 戸、5,606 頭となり、前年に比べて 2 頭の増加となった。  
支払共済金は、80,413,108 円で、被害率は 5.42% となった。

#### エ 果樹共済 (うんしゅうみかん)

平成 27 年産から生産者の廃業により引受実績は無し。

#### オ 畑作物共済 (大豆)

平成 28 年産引受実績は、89 戸、83,297 a で、前年に比べて 1,087 a 増加した。  
支払共済金は、14,039,649 円で、被害率は 10.46% となった。

## カ 園芸施設共済

平成28年度引受実績は、174戸、315棟で、前年に比べて19棟の減少となった。  
支払共済金は、2,620,175円で、被害率は0.35%となった。

### (2) 予算執行及び決算額の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

＜予算決算対比表＞

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額又は不用額	(B)/(A)×100
	円	円	円	%
共済事業収益	470,757,000	404,877,252	△ 65,879,748	86.0
農作物共済勘定	69,433,000	47,339,001	△ 22,093,999	68.2
家畜共済勘定	142,607,000	127,445,327	△15,161,673	89.4
果樹共済勘定	7,000	0	△7,000	0.0
畑作物共済勘定	23,779,000	20,036,029	△3,742,971	84.3
園芸施設共済勘定	11,006,000	5,965,980	△ 5,040,020	54.2
業務勘定	223,925,000	204,090,915	△19,834,085	91.1
共済事業費用	470,757,000	395,646,255	75,110,745	84.0
農作物共済勘定	69,433,000	42,423,133	27,009,867	61.1
家畜共済勘定	142,607,000	123,896,965	18,710,035	86.9
果樹共済勘定	7,000	0	7,000	0.0
畑作物共済勘定	23,779,000	19,949,605	3,829,395	83.9
園芸施設共済勘定	11,006,000	5,285,637	5,720,363	48.0
業務勘定	223,925,000	204,090,915	19,834,085	91.1

(注) 増減額又は不用額欄の収益については (B) - (A) 費用については (A) - (B)

## ア 共済事業収益

予算額4億7,075万円に対して、決算額は4億487万円で、執行率は86.0%である。

また、前年度決算額との比較では、414万円(1.0%)減少している。これは主に、家畜共済勘定が1,070万円(9.2%)増加した一方で、畑作物共済勘定987万円(33.0%)、農作物共済勘定532万円(10.1%)が減少したことによる。

## イ 共済事業費用

予算額4億7,075万円に対して、決算額は3億9,564万円で、執行率は84.0%である。

不用額の主なものは、農作物共済勘定2,700万円、業務勘定1,983万円、家畜共済勘定1,871万円である。

また、前年度決算額との比較では、179万円(0.5%)減少している。これは主に、家畜共済勘定が872万円(7.6%)増加した一方で、畑作物共済勘定が957万円(32.4%)減少したことによる。

### (3) 経営状況について

平成 26 年度から平成 28 年度までの 3 年間の経営収支の推移は、次表のとおりである。

#### <経営収支表>

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	円	円	円
営業収益	476,146,009	394,133,449	353,544,561
営業費用	458,550,070	389,588,546	387,237,313
営業利益	17,595,939	4,544,903	△33,692,752
営業外収益	4,845,164	7,159,952	43,705,753
営業外費用			
経常利益	22,441,103	11,704,855	10,013,001
特別利益			105
特別損失	349,622	118,522	782,109
当年度純利益	22,091,481	11,586,333	9,230,997
当年度未処分利益剰余金	22,091,481	7,843,934	5,876,096

当年度の経営成績は、総収益 3 億 9,725 万円、総費用 3 億 8,801 万円で、差引 923 万円の純利益を計上し、前年度に比べ 235 万円の減少となっている。

減少の主な要因は、営業収益が 4,058 万円（10.3%）減少したことによる。

### (4) 財政状態について

当年度末と前年度末の比較貸借対照表は、次表のとおりである。

資 産 の 部				
項 目	平成 28 年度	平成 27 年度	増減額	増減率
	円	円	円	%
1. 流動資産				
(1) 現金預金	444,099,368	494,481,872	△ 50,382,504	△ 10.2
(2) 一時貸付金	0	0	0	—
(3) 有価証券	0	0	0	—
(4) 未収金	4,528,833	11,371,320	△ 6,842,487	△ 60.2
貸倒引当金（差引）	0	0	0	—
流 動 資 産 計	448,628,201	505,853,192	△ 57,224,991	△ 11.3
2. 固定資産				
(1) 有形固定資産	1,803,160	4,303,160	△ 2,500,000	△ 58.1
減価償却累計額（差引）	△ 1,576,086	△ 3,893,045	2,316,959	59.5
(2) 無形固定資産	226,300	226,300	0	0.0
(3) 拠出金	9,727,444	9,727,444	0	0.0
固 定 資 産 計	10,180,818	10,363,859	△ 183,041	△ 1.8
資 産 合 計	458,809,019	516,217,051	△ 57,408,032	△ 11.1

負債及び資本の部				
項目	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
	円	円	円	%
3. 流動負債				
(1) 一時借入金	0	0	0	—
(2) 未払金	8,811,036	15,870,737	△ 7,059,701	△ 44.5
(3) 責任準備金	12,853,624	16,756,807	△ 3,903,183	△ 23.3
(4) 支払備金	1,313,317	1,490,389	△ 177,072	△ 11.9
(5) その他流動負債	0	2,300,000	△ 2,300,000	皆減
流動負債計	22,977,977	36,417,933	△ 13,439,956	△ 36.9
4. 固定負債				
(1) 業務引当金	49,663,291	92,148,111	△ 42,484,820	△ 46.1
(I) 業務引当金	39,482,473	81,784,252	△ 42,301,779	△ 51.7
(II) 業務引当金	10,180,818	10,363,859	△ 183,041	△ 1.8
固定負債計	49,663,291	92,148,111	△ 42,484,820	△ 46.1
負債合計	72,641,268	128,566,044	△ 55,924,776	△ 43.5
5. 資本				
(1) 剰余金	380,291,655	379,807,073	484,582	0.1
法定積立金	180,511,444	176,411,454	4,099,990	2.3
特別積立金	199,780,211	203,395,619	△ 3,615,408	△ 1.8
(2) 当年度末処分剰余金 (未処理不足金)	5,876,096	7,843,934	△ 1,967,838	△ 25.1
繰越剰余金年度末残高 (不足額)	△ 3,354,901	△ 3,742,399	387,498	10.4
当年度純利益 (純損失)	9,230,997	11,586,333	△ 2,355,336	△ 20.3
資本計	386,167,751	387,651,007	△ 1,483,256	△ 0.4
負債資本合計	458,809,019	516,217,051	△ 57,408,032	△ 11.1

(5) 資金の状況について

キャッシュフロー計算書の状況は次表のとおりである。

(単位：円)

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度	増減額
<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
共済掛金及び交付金収入	89,011,552	86,544,083	2,467,469
保険金収入	70,388,890	67,308,597	3,080,293
受取診療補填金、技術給付金及び診療収入	17,671,276	15,388,068	2,283,208
受取補助金及び賦課金収入	149,501,489	186,497,128	△36,995,639
その他の業務活動による収入	2,552,497	5,547,298	△2,994,801
保険料及び技術料支出	△55,481,363	△55,212,200	△269,163
共済金支出	△113,882,598	△108,766,716	△5,115,882
診療諸掛による支出	0	0	0
無事戻金支出	△4,410,600	△3,700,300	△710,300
人件費支出	△164,550,387	△164,209,367	△341,020
その他の業務活動による支出	△42,404,193	△40,259,077	△2,145,116
小 計	△51,603,437	△10,862,486	△40,740,951
利息の受取額	1,220,933	604,735	616,198
利息の支払額	0	0	0
業務活動によるキャッシュ・フロー	△50,382,504	△10,257,751	△40,124,753
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の払戻による収入	430,000,000	280,000,000	150,000,000
定期預金の預入による支出	0	△430,000,000	430,000,000
有価証券の償還による収入	0	200,000,000	△200,000,000
有価証券の売却による収入	0	0	0
有価証券の取得による支出	0	0	0
有形固定資産の売却による収入	0	0	0
有形固定資産の取得による支出	0	0	0
無形固定資産の売却による収入	0	0	0
無形固定資産の取得による支出	0	0	0
その他の投資活動による収入	0	0	0
その他の投資活動による支出	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	430,000,000	50,000,000	380,000,000

III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入による収入	0	0	0
一時借入金の返済による支出	0	0	0
長期借入による収入	0	0	0
長期借入金の返済による支出	0	0	0
リース債務の返済による支出	0	0	0
その他の財務活動による収入	0	0	0
その他の財務活動による支出	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0

IV 資金に係る換算差額	0	0	0
V 資金増加額（又は減少額）	379,617,496	39,742,249	339,875,247
VI 資金期首残高	64,481,872	24,739,623	39,742,249
VII 資金期末残高	444,099,368	64,481,872	379,617,496

## (6) 解散に伴う清算事務

### 1. 預金の引き継ぎについて

3月末日の預金残高 444,099,368 円については、四日市市に引き継がれていた。

### 2. 保証金の返還について

金融機関の担保金については、3月末日をもってそれぞれの金融機関に返還されていた。

### 3. 固定資産の引き継ぎについて

三泗鈴亀農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議書に基づき、三重県農業共済組合に引き継がれていた。

### 4. 不納欠損処理について

組合の解散に伴う共済掛金と賦課金の不納欠損については、平成29年1月に組合議会で議決され管理者の決裁を受けて処理されていた。

### 5. 官公庁への届出について

三泗鈴亀農業共済事務組合解散届出書（三重県知事）（平成29年1月31日付け）が提出されていた。

### 6. 構成団体の協議書等について

三泗鈴亀農業共済事務組合の解散に関する協議書（平成29年1月31日付け）

三泗鈴亀農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議書

（平成29年1月31日付け）

三泗鈴亀農業共済事務組合同規約の変更に関する協議書（平成28年11月8日付け）

三泗鈴亀農業共済事務組合の解散に伴い四日市市に承継する事務に関する協定書

（平成29年1月31日付け）

## (7) まとめ

昭和22年に制定された農業災害補償法に基づき農業共済組合が旧市町村ごとに設立された。その後の市町村合併あるいは運営基盤の整備強化のための統廃合及び市町委譲等の経緯の中で、平成12年4月に三泗鈴亀農業共済事務組合が設立され、四日市市・鈴鹿市・亀山市・菰野町・朝日町・川越町の区域において農業共済事業を行ってきた。農家が減少する中、農業共済事業の運営基盤の強化・効率化を図るため、全国的に農業共済団体等の1県1組合化が進められ、三重県下では、桑員農業共済組合が事業区域拡大を行い、県内全域を対象とした三重県農業共済組合として新たに農業共済事業を実施することとなり、三泗鈴亀農業共済事務組合は平成29年3月31日をもって解散した。

## (8) 意見

三泗鈴亀農業共済事務組合の解散に伴い四日市市に承継する事務に関する協定書に基づき、事務組合が引き受けた農業共済の内、事務組合解散時に共済責任期間の残る農業共済に関する事務等は四日市市が承継した。

四日市市が事務を承継するに際しては、事務組合から預金残高の他に未収金・未払金などの債権債務も承継している。事務組合解散後の承継事務の実施を目的とする三泗鈴亀農業共済事務組合清算特別会計において、預金の保全管理と未収金の回収・未払金の支払について、適切かつ迅速に事務処理を行い、その承継業務を早期に完遂させること。